



## 水産情報速報版

H18. 2. 17 1180

静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 平成17年(1~12月)の漁海況動向まとまる

#### - 県水産試験場 -

県水産試験場では、平成17年(1~12月)の漁海況動向(黒潮流路、県下沿岸水温、漁況 = 漁海況月報号外)を取りまとめインターネットで掲載しました。このうち、主要漁業の17年の漁海況動向は次のとおりです。

サバたも抄い・棒受網 = 伊豆諸島海域でのたも抄い(17年1~6月)における千葉県・神奈川県・静岡県の水揚量は、マサバが141ト(同57ト)を上回ったものの、依然として低水準でした。一方、ゴマサバの水揚量は3,752ト(1夜1隻平均8.1ト)で、平成16年同期6,211ト(1夜1隻平均10.3ト)を下回りました。

このうちゴマサバは、30~35cmのもの23~28cmのものが主体で漁獲されましたが、後者は前年秋以降漁獲の主体となっていた、近年では資源水準の高い1歳魚(2004年級群)と考えられ、魚体が小さいため魚価も安く、これを避けながらの操業となり、出漁日数も少なかったため、漁獲量の減少につながったと考えられます。なお、昨年1年間の棒受網とたも抄いによる静岡県のゴマサバ漁獲量は12,241ト(16年同期: 18,034ト)でした。

竿釣近海カツオ = 平成17年の静岡県下主要港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣水揚量は、4,195トで、16年の3,292トを上回りましたが、過去5カ年(平均4,747ト)の88%でした。平均単価は305円/キで、16年の405円/キを下回りました。

まき網 = 各港のマイワシの水揚量は、静浦漁港は13トで16年(558ト)の2%、小川港は198トで16年(982ト)の20%、伊東港は35トで16年(139ト)の25%となり、いずれの港も極めて低調な水揚となりました。静浦漁港におけるカタクチワシの水揚量は、1,318トで16年(1,155ト)の114%、平年(1,059ト)の124%でした。

シラス船曳網 = 平成17年3~12月の主要6港(静岡・吉田・御前崎・福田・舞阪・新居)のシラス総水揚量は6,815トで、16年の279%、過去5カ年平均の123%となり、総水揚金額は47億9,481万円で、16年の192%、過去5カ年平均の97%でした。平均単価は704円で16年の69%、過去5カ年平均の97%でした。

16年に発生した黒潮大蛇行は、6月まで継続していたものの、4月以降は内側反流の顕著な発達が見られなかったことや、蛇行北上部が変動していたため、前年のような極度の不漁とならず、4月の好漁につながったと考えられます。また、6月後半の大蛇行解消以降、冷水域の一部が数回に分けて東進することで黒潮の変動が続いたことが、8~10月の好漁につながったと考えられます。

定置網 = 平成17年の伊豆半島東岸の大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の漁獲量は5,610トで、平年漁獲量(昭和57年~平成16年平均)3,809トの1.5倍となり、昭和57年以降で3番目に多い漁獲量となりましたが、水揚金額は、サバ類をはじめとした魚価の低迷により低調でした。

サクラエビ船曳網 = 平成17年の春漁は出漁日数21日(16年同期23日)、漁獲量は1,268

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ト(同1,526ト)で、漁獲されたサクラエビの平均体長は36.1mm(同37.7mm)でした。秋漁は、出漁日数14日(同17日)、漁獲量は457ト(同301ト)で、平均体長31.9mmの当歳エビ(同30.6mm)と、平均体長41.0mmの1歳エビ(同40.5mm)の2群で構成されました。

### 2. 食品表示調査 全商品「適正」は半数以下

農水省がこのほど発表した食品表示調査によると、昨年6月2日から4ヶ月間で、主に複数の都道府県に店舗展開している食品販売店等(1,642店舗)について、食品表示ウォッチャー432人が日常的に店頭調査した結果、すべての商品が適正表示だったのは753店舗で、全体の46%にとどまりました。

商品の50~79%が適正表示だったのは、58店舗(全体の3.5%)、商品の半数以上が適正表示でないのは10店舗(同0.6%)でした。

今回のウォッチャーからのモニタリング報告では、日頃の活動の中で気付いたこと、考えられたこと等を食品表示制度に対する意見として、「表示が義務付けられている内容が多く、見づらく感じることもある。だが、自分が必要な情報を常に得られる状態であるためには、やむを得ないと思う。見易さと情報量のバランスを取ることも必要」など、282件の意見等が寄せられました。

### 3. 全国漁業協同組合学校が第二次募集

全国漁業協同組合学校では、平成18年度基礎コースの第二次募集を実施しています。同校は、JFグループの若手職員の研修機関として、今後のJF運営やJF合併等を支える人材育成を目指しており、協同組合精神とJF経営の知識・実務の習得のためにカリキュラムを充実させています。応募期間を3月末日まで延長し、意欲ある人材を求めています。

問合せ先・申込先: 全国漁業協同組合学校 TEL: 04-7144-8125

HPアドレス = <http://www.jf-net.ne.jp/kumiaigakkou>

### 4. 船員安全衛生月間の標語、体験記募集のお知らせ

船員災害防止協会では、第50回(平成18年度)船員労働安全衛生月間行事の一つとして、安全衛生を内容とする「体験記・意見」「標語」の募集を行っています。

「体験記・意見」の内容は、安全衛生面の改善に効果を上げた具体例 安全衛生意識の高揚 活動の促進に役立つ体験や意見。「標語」は、点検整備 清潔保持や健康維持増進方法・心得などとなっています。

応募資格: 船員(船員であった者を含む)及びその家族、海運・水産各社、海事関係官庁・団体に勤務する者、商船・水産関係教育機関の職員・学生 応募方法: 住所、氏名、勤務先を明記の上郵送又はFAXする 締切日: 平成18年5月31日(必着) 送付・問合せ先: 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 船員災害防止協会月間係 TEL: 03-3263-0918 FAX: 03-3263-0910

### 5. 諸会議・日程(2月21日(火)~3月6日(月))

#### - 既報分省略 -

2月21日(火) 県漁業振興基金 = 伊豆地域栽培漁業推進協議会 (伊東市漁協)

2月28日(火) 県おさかな普及協議会 = 代表幹事会 (県水産会館)

3月 3日(金) 県漁連 = 船舶職員養成講習会閉講式 (漁業高等学園)

” 県桜えび漁業組合船長部会 = 通常総会 (熱海市)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう